

こだま

第220号
2025. 1



金沢大学附属図書館報 “こだま”

<https://library.kanazawa-u.ac.jp/>



撮影協力：鈴木大拙館

鈴木大拙館

とぼら館めぐり #4 D. T. Suzuki Museum

金沢出身の仏教哲学者・鈴木大拙の誕生日を前に、附属図書館学生ボランティア「とぼら」によるとぼら館めぐり #4「鈴木大拙館」を開催しました。

今号では、学芸員の方にご案内をいただきながら鈴木大拙館とその周辺のゆかりの地を散策した様子をご紹介します。



撮影協力：鈴木大拙館

〒920-0964 石川県金沢市本多町 3 丁目 4 番 20 号
<https://www.kanazawa-museum.jp/daisetz/>



鈴木大拙

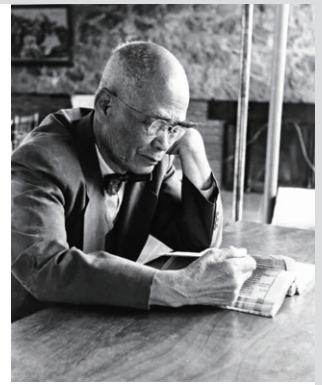
Daisetz Teitaro Suzuki 1870 - 1966

鈴木大拙(本名・貞太郎)は1870(明治3)年10月18日(新暦11月11日)生まれ。同じく石川県出身の西田幾多郎は第四高等中学校の同窓生であり、大拙の生涯にわたる親友でした。日本のみならず、アメリカやヨーロッパの大学でも教壇に立ち、英文での著作も数多く残した大拙は、仏教や禅思想、日本文化を広く世界に紹介しました。

※大拙、幾多郎についての詳細は、後掲のこだま197号「特集：大拙と幾多郎～超大先輩を知る、読む～」を併せてご覧ください。

※"鈴木 大拙", 日本近代文学大事典, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2024-11-18)

"すずき-だいせつ【鈴木大拙】", 日本人名大辞典, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2024-11-18)



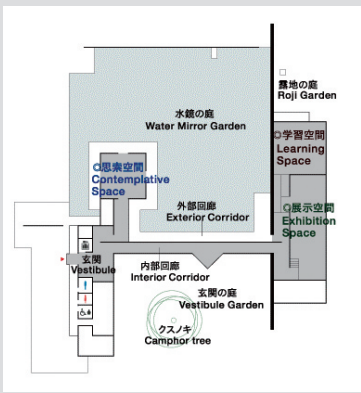
写真提供：鈴木大拙館

2024年11月10日、とぼらメンバー 4名を含む総勢10名が参加し、金沢市本多町にある鈴木大拙館を訪れました。今回は、猪谷聡学芸員から館内を案内していただいた後、大拙にまつわるお話に留まらない様々なエピソードを伺いながら館外を散策し、最後に金沢歌劇座の会議室で参加者からの質問にお答えいただくという大変贅沢な館めぐりとなりました。

鈴木大拙生誕地記念碑



思索空間と水鏡の庭



※鈴木大拙館webサイト(前掲)掲載の館内地図

写真提供：鈴木大拙館

本多公園



旧本多家住宅長屋門



旧制一中正門跡



参加者の感想

清水 彩聖さん(地域創造学類3年)

鈴木大拙館に行くのは2回目でした。今回は鈴木大拙館の学芸員さんと館内の中も外も一緒に巡ったことでより鈴木大拙のことを様々な角度で知ることができたと思います。

館内を飛び出して散策をしながらお話を聞く機会は普段鈴木大拙館をただ訪れるだけでは得られない経験だったので非常に貴重でした。

金瀬 美里さん(地域創造学類4年)

鈴木大拙館には一度だけ行ったことがあります。しかし、今回は学芸員の方のお話を聞くことで、どのような意図で建てられたのかなど、鈴木大拙館に込められた想いを知ることができました。

来年もとぼら館めぐりが開催されるなら、是非皆さんにも行ってほしいです。

渡邊 大将さん(数物科学類3年)

哲学という堅苦しい印象を持ちがちですが、今回の館めぐりを通して大拙の哲学や言葉はその逆でもっと柔らかいものだと感じました。私が気に入った大拙の言葉「スーッとやるんだ」が言い得て妙だと思います。

学芸員の方からの裏話は、金沢の歴史に関するものも多く何気ない道に知識の彩を添えてくれるもので楽しかったです。

北村 すみれさん(人文学類1年)

今回初めて鈴木大拙館を訪れましたが、展示物が少なく、説明書きがほとんどない博物館には今まで行ったことがなかったので、とても新鮮でした。

鈴木大拙と本多町や、西田幾多郎との関係について知ることができ、勉強になりました。天気や季節に合わせて、何度も訪れたい場所だと思いました。



撮影協力：鈴木大拙館

Q & A



参加者と猪谷学芸員(右から2番目)

Q おすすめの著作は？

A 一番の入門書はこちらです。

岡村美穂子, 上田閑照著
『大拙の風景－鈴木大拙とは誰か－』
燈影舎, 2008年(中央図開架188.82:S968)

Q 年代等, 来館者の傾向は？

A 幅広い年代の方が来館されています。2015年の北陸新幹線(長野-金沢間)開業以降は20代など若い年代が増え、大拙だけでなく谷口吉生氏の建築に関心を持つ来館者も開館当初より多く見られるようになりました。平日は国内よりも海外からの来館者が多い傾向にあります。

当初の想定を大きく上回る来館者数となっていることもあり、2014年からは、開館前の朝に完全な静寂性を保つ思索体験プログラムを開催しています。(要予約)

Q 展示空間における工夫は？

A 先入観に依らない体験のために、文字情報が極力入らないようにしています。海外からの来館者向けには、日英併記や、作品や資料の配置を少し高めにするなどの工夫も行っています。

最近では鈴木大拙館をモチーフとする星野源氏の楽曲をきっかけに来館する方もいらっしゃいます。音楽や建築、文学作品など、自分が関心のある事柄や人を通していつかどこかで大拙と出会うようなきっかけをなるべくご提案できたらと思っています。

Q ロゴマークに込められた思いとは？

A 矢萩喜徳郎氏によるシナプスを表したデザインですが、私たちは特に冬の「水鏡の庭」の水面に見立てられると紹介しています。



撮影協力：鈴木大拙館



※猪谷学芸員には、こだま197号でも鈴木大拙関連のお薦め図書をご推薦いただきました。ぜひ197号でその他の代表作などもご覧ください。

【こだま197号】



「とぼら」は館めぐりの他にも様々な活動を行っています。本や映画が好きな方、附属図書館で活動してみたい方、ちょっと興味がある方も、ぜひお気軽にご参加ください！

主な活動内容 ▶ 選書ツアー、読書会、映画上映のイベントなど



とぼら
メンバー募集中



教員・研究者のみなさまへお知らせ

シラバス作成時「教科書・参考書」の情報をご入力ください。

入力画面でISBNを入力し、参照入力ボタンを押すと書名等が自動入力されることをご存知ですか？また、正しいISBNを入力することで、本学のOPAC plus(蔵書検索システム)にリンクし、所蔵状況を簡単に確認できるため、学生さんの自学自習のサポートにもなります。これぞ一石二鳥！ぜひ本機能をご利用ください。

* 図書館ではシラバスに新たに記載された参考書等をできるだけ購入しています。 https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=45078
入力期限(毎年2月末頃)までの入力にもご協力ください。



シラバス

教科書	書名	著者名	出版社	講談社	出版年	2021
教科書	書名	著者名	出版社	講談社	出版年	2023

書名をクリックするとOPACにリンク！

自然科学系図書館にある！読んでみよう！

金沢大学附属図書館 蔵書検索 OPAC plus

ISBN (international Standard Book Number) 図書等の識別用に設けられた国際規格コードです。
※ISBNが不明の場合は、OPAC plus (<https://www1.lib.kanazawa-u.ac.jp/>)、その他の検索エンジンでご確認ください。

附属図書館は論文のオープンアクセス(OA)化を支援します！：2025年の取組み

① 転換契約(Read&Publish契約)の拡大：大学にとって有利な条件での契約による研究支援の強化

大学と出版社が「購読+出版」の契約を結ぶことで、著者は高額のAPC(OA出版に係る費用 Article Processing Charge)を出版社に支払うことなく論文をOAにすることができます。▶2025年対象 Springer-Nature, Elsevier, Wiley NEW, ACS NEW

- ✓ 本学所属の研究者が責任著者で、対象となる雑誌に投稿した場合に適用されます。
- ✓ 学内で上限数が決まっているため、先着順となります。
- ✓ 責任著者には一律10万円を負担いただけます。(図書館に予算振替。学術情報基盤整備計画で購読する電子ジャーナル等の購読料に使用し、全学に還元します。ご協力ください。)



この制度を使って論文をOA化したい…

各出版社の論文投稿システムで論文が受理された段階、またはOAを選択した段階で、図書館から責任著者の方に「OA化を希望するか/どの経費で支払うか」をお尋ねします。

OAについての詳細は、図書館Webサイト「オープンアクセス支援」をご覧ください。 https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=45093



② 機関リポジトリKURAを通した本学の研究成果の発信

2018年に「金沢大学オープンアクセス方針」を策定し、著者のセルフアーカイブによるOA化を推進

ぜひ、学術雑誌論文の著者最終稿などの学術成果を附属図書館にお送りください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S72508027/>



2024年2月、内閣府から「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が発表され、公的資金による助成を受けた学術論文等(2025年度新規公募分より)の即時OAが義務化されることになりました。



「さあ、価値観を広げよう」

多くの学生諸君は希望と夢を抱え、本学に入学したと思います。当時の私は、入学後まもなく置かれた状況に価値を見出せず、絶望していました。そんな時、ふと本屋に立ち寄ると1冊の本『大学時代しなければならない50のこと (中谷彰宏)』に目が留まりました。立ち読みでは笑いがこみ上げてくるので、隣に並べられた『大学時代出会わなければならない50人』もすぐさま購入し、本屋をでました。この2冊の本をきっかけに、世界観が変わり、行動力も高まり、楽しく大学時代を過ごすことができました。

当然ながら専門性を高めるための勉強は大事ですが、それと同等ないしそれ以上に様々なヒトとの出会いを通じて、価値観を広げていくことが大事だと思います。考え方ひとつで状況が一変します。様々な捉え方ができることで、悩まないですむことが沢山あります。本との出会いは著者との出会いであり、直接知り合うことのない著者の経験・考え方を知ることができます。一度の人生をより楽しいものにするために、様々なヒトや本と出会い、価値観を広げてください。

※1冊ずつの紹介文は、図書館教員おすすめ図書コーナー及びWebサイトでご覧いただけます。

	書名 著者・出版事項
1	大学時代しなければならない50のこと 中谷彰宏著, PHP研究所, 2000.12
2	大学時代出会わなければならない50人 中谷彰宏著, PHP研究所, 2001.7
3	伝わる・揺さぶる! 文章を書く 山田ズーニー著, PHP研究所, 2001.11
4	生物と無生物のあいだ 福岡伸一著, 講談社, 2007.5
5	すべては一杯のコーヒーから 松田公太著, 新潮社, 2005.3



金沢大学ボキャブラリーコンテスト2024 結果発表!

10月8日(火)総合教育棟A1教室で、英語の語彙力を競う「金沢大学ボキャブラリーコンテスト2024」(国際基幹教育院, 未来創成教育環主催, 附属図書館共催)が開催され、以下の結果となりました。おめでとうございます!

優勝: 栗林麗華さん (医学類)

2位: 富永遥大さん (国際学類) 3位: 日笠 遥さん (保健学類)

4位: 安田優斗さん (総合教育文系) 5位: 砂川颯太さん (機械工学類)

6位: 佐々木梨乃さん (国際学類)

7位 (3名): 和田 馨さん (薬学類) 山下将輝さん (人文学類) 呉蓮さん (国際学類)



2025年1~3月の開館カレンダー

中央図書館	自然科学系図書館	医学図書館	保健学類図書室
<p>1 8:45-22:00</p> <p>2 8:45-21:15</p> <p>3 8:45-17:00</p> <p>4 9:00-17:00</p> <p>5 8:45-12:00</p> <p>6 休館 Closed</p>	<p>1 8:45-22:00</p> <p>2 8:45-21:15</p> <p>3 8:45-17:00</p> <p>4 10:00-17:00</p> <p>5 8:45-12:00</p> <p>6 休館 Closed</p>	<p>1 8:30-22:00</p> <p>2 8:30-17:00</p> <p>3 10:00-16:00</p> <p>4 10:00-17:00</p> <p>5 休館 Closed</p>	<p>1 8:45-22:00</p> <p>2 8:45-17:00</p> <p>3 10:00-17:00</p> <p>4 休館 Closed</p>
<p>1 Jan. 5 6 7 8 9 10 11</p> <p>12 13 14 15 16 17 18</p> <p>19 20 21 22 23 24 25</p> <p>26 27 28 29 30 31</p>	<p>1 Jan. 5 6 7 8 9 10 11</p> <p>12 13 14 15 16 17 18</p> <p>19 20 21 22 23 24 25</p> <p>26 27 28 29 30 31</p>	<p>1 Jan. 5 6 7 8 9 10 11</p> <p>12 13 14 15 16 17 18</p> <p>19 20 21 22 23 24 25</p> <p>26 27 28 29 30 31</p>	<p>1 Jan. 5 6 7 8 9 10 11</p> <p>12 13 14 15 16 17 18</p> <p>19 20 21 22 23 24 25</p> <p>26 27 28 29 30 31</p>
<p>2 Feb. 2 3 4 5 6 7 8</p> <p>9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28</p>	<p>2 Feb. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28</p>	<p>2 Feb. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28</p>	<p>2 Feb. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28</p>
<p>3 Mar. 2 3 4 5 6 7 8</p> <p>9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28 29</p> <p>30 31</p>	<p>3 Mar. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28 29</p> <p>30 31</p>	<p>3 Mar. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28 29</p> <p>30 31</p>	<p>3 Mar. 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>16 17 18 19 20 21 22</p> <p>23 24 25 26 27 28 29</p> <p>30 31</p>

金大図書館時習基金報告

●寄附者ご芳名

2021年3月24日~2024年12月23日

岩見雅史様, 山岸雅子様,
南薫郎様, 吉田利男様,
杉山欣也様, 津田仁巳様,
脇水達生様, 情報部親睦会,
武内徹様, 小松洋一様

※氏名公表可の方のみ掲載

●寄附件数

2024年9月24日~2024年12月23日

2件

設立からの寄附累計
38件 / 1,593,703円
ありがとうございます

編集後記

今回のこたまでは、館内だけでなく、大拙が生まれ育った館周辺の地域も散策するという充実した館めぐりをご紹介できました。ご協力いただいた学芸員の猪谷様をはじめ、鈴木大拙館の皆様にご心よりお礼申し上げます。

令和7年1月10日発行 発行: 金沢大学附属図書館 編集: 広報委員会 【記事担当: 遠藤・伊藤】